

2023
7

とやま



目次

- ・令和5年産米
出荷契約米契約数量 …… 2
- ・地域農業振興支援事業 …… 3
- ・まんなか市場 6周年
青年部 活動記録
女性部だより …… 4
- ・会長就任のご挨拶
アンパンマン交通安全キャラバン
年金受給者友の会地区別総会 …… 5
- ・Topics …… 6~7

9・10月 税務相談日 (本店2階)

9/11(月)、9/25(月)、10/10(火)、10/25(水)

各 PM1:00~PM3:00



今年の出荷契約米契約数量は、

7万9,305.5俵 (うるち米・もち米) 前年7万8,782.5俵

令和5年産米の出荷契約米契約数量がまとまりました。J A富山市管内の地区別・品種別の出荷契約数量は、下記の表となります。

令和5年産米品種別 出荷契約数量

● 出荷契約米

(単位：俵/60kg)

地区	うるち米							うるち計
	コシヒカリ	てんたかく	てんこもり	富富富	ゆうだい21	その他	五百万石	
太田	14,472.0	264.5	298.5	2,827.5	2,748.0	22.0	1,984.0	22,616.5
新保	4,881.0	500.0	106.0	371.0	694.5	126.0	—	6,678.5
熊野	14,344.0	474.0	692.5	711.5	2,124.5	164.5	—	18,511.0
月岡	10,664.0	810.5	288.5	1,547.0	1,860.0	—	—	15,170.0
南支店計	44,361.0	2,049.0	1,385.5	5,457.0	7,427.0	312.5	1,984.0	62,976.0
蜷川	3,622.0	279.0	43.0	821.0	41.5	238.5	—	5,045.0
堀川	2,920.5	52.0	—	33.5	199.5	—	—	3,205.5
山室	4,332.0	98.5	67.0	519.0	835.5	—	—	5,852.0
中央支店計	10,874.5	429.5	110.0	1,373.5	1,076.5	238.5	—	14,102.5
本店	200.0	—	125.0	350.0	500.0	100.0	—	1,275.0
合計	55,435.5	2,478.5	1,620.5	7,180.5	9,003.5	651.0	1,984.0	78,353.5

● 加工用米・備蓄米

地区	もち米		もち計	うるち・もち計
	新大正糯	その他もち		
太田	324.0	—	324.0	22,940.5
新保	17.0	—	17.0	6,695.5
熊野	290.0	—	290.0	18,801.0
月岡	125.5	—	125.5	15,295.5
南支店計	756.5	—	756.5	63,732.5
蜷川	75.0	—	75.0	5,120.0
堀川	71.5	—	71.5	3,277.0
山室	49.0	—	49.0	5,901.0
中央支店計	195.5	—	195.5	14,298.0
本店	—	—	—	1,275.0
合計	952.0	—	952.0	79,305.5

地区	加工用米	備蓄米
太田	5,414.0	2,085.5
新保	238.5	1,369.0
熊野	1,754.0	3,491.0
月岡	550.5	2,413.0
南支店計	7,957.0	9,358.5
蜷川	1,270.5	367.5
堀川	49.0	334.0
山室	293.5	501.5
中央支店計	1,613.0	1,203.0
本店	66.5	58.5
合計	9,636.5	10,620.0

令和5年度 地域農業振興支援事業

事業名	事業内容	交付条件	助成金額	摘要
①新規就農者支援助成	新規就農者の経営開始に係る機械導入等購入費用を助成	認定新規就農者(富山市認定)又はそれに準ずる新規就農者	新規就農に必要な認められる費用の一部を助成 事業費の1/10 最高50万円	認定新規就農者認定書 農協からの機械導入に限る
②土づくり支援助成	②-1 水稻の地力増強に係るケイ酸質素材の散布作業料金を助成	生産組合単位又は水稻面積10ha以上(受託含、団地化)ケイ酸質素材を基準量以上施用	耕作者に対して作業料金を助成 800円/10a	資材料金は個人負担 農協からの資材購入に限る 但し、中間追肥は除く
	②-2 肥料施用量の適正化に向けた土壌分析に係る費用を助成	農協に委託した土壌分析に係る費用の一部助成	水稻用分析パック 園芸用分析パック 2,000円/1パック助成	全農によるパック分析に限る
	②-3 牛ふん堆肥散布助成	牛ふん堆肥代金に対して助成	牛ふん堆肥 2t 1,000円/1台	富山市農協管内畜産農家からの購入に限る
③受託作業支援助成	農協からの再委託作業を行う場合に助成	農協からの再委託作業について助成	作業料金の1割 ※市街化地区は2割	農協からの再委託作業に限る
④米合理化推進助成	米の集出荷の合理化(フレコン出荷)・ コスト低減 を図る取組みに対して助成	フレコン出荷者に限る 農協施設利用者に限る 富山市農協指定機材に限る	事業費の1/3 リフトは1/6 最高50万円 RCスタンドバック 10,000円(1枚) ラック倉庫・種子センター 2,000円(1枚)	合理化に必要な機材・施設に係る費用の一部 農協からの機材導入に限る
⑤スマート農業推進助成	コスト低減に資するスマート農業機械の導入に対して助成	ドローン・自動灌水装置 自動運転機械等	農機具の購入助成 事業費の1/10 最高50万円	農協からの機材導入に限る 自動運転機械は自動運転に係る費用分のみ対象とする
⑥園芸振興支援助成	⑥-1 園芸作物を取り入れた複合化及び コスト低減 に必要な費用を助成	各部会に所属及び共選共販を行うこと 既に複合化をしている方は品目を増やす場合に対象	事業費の1/10 最高50万円	機材の見積書、契約書 農協からの機械導入に限る 1品目1回に限る
	⑥-2 出荷数に応じて出荷容器の費用を一部助成	各部会に所属及び共選共販の品目であること 出荷用のダンボール箱等	出荷容器額の3割を助成	箱の出荷数量に対して助成 農協からの資材購入に限る
	⑥-3 園芸作物を新規に取り組む生産者の種苗代金を一部助成	各部会に所属及び共選共販を行うこと又は、農協推奨品目に取り組むこと	種苗代金の一部を助成 事業費の1/2 最高20万円 新規取組み者の初年度のみ	農協からの資材購入に限る 新規栽培に限る
	⑥-4 各部会の販売拡大及び コスト低減 に必要な費用を助成	富山市農協管轄の部会組織であること	最高30万円(1部会年間)	事業主体は各部会であること 農協からの資材購入に限る
	⑥-5 園芸作物の直売所出荷費用を一部助成	富山市農協直売所に出荷している生産者及び直売会に対して助成 出荷包装・ラベルシール等	直売会：直売所売上の1% 生産者：売上30万以上 売上50万以上 売上100万以上	売上の1% + 3,000円 売上の1% + 5,000円 売上の1% + 10,000円
⑦畜産振興支援助成	畜産飼料価格高騰対策助成	飼料価格の高騰に対する助成	飼育頭数×10,000円(年間) 年間最高50万円	農協からの飼料供給額の範囲内
⑧低コスト農業推進助成	3戸以上の生産者で機械の共同利用をする際に助成	5ha以上の取組みに対して助成	事業費の1/10 1経営体1回 最高50万円	機材の見積書、契約書 農協からの機械導入に限る
⑨農業資格取得支援助成	農業機械運転資格等の取得費用を助成	農業に直接関係する資格に限る(大型特殊・リフト等)	資格取得費用の1/3 最高10万円	取得資格免許の写し 領収書等
⑩農業新聞購読支援助成	農業新聞を年間購読している農業者に対して購読料を助成	富山市農協組合員及び役職員に限る	年間購読料金の約1/3 助成額1万円(年間)	富山市農協への申込購読者を対象とする
⑪農業資金借入助成	農協資金による借入に対して保証料見合いを助成	近代化資金等制度資金に限り対象とする	保証料額を助成	農協からの機械導入に限る
⑫米選別網購入支援助成	ゆうだい21の生産者が1.8mmの米選別網を購入する際に助成	農協からの機械購入に限る	購入費用の1/2を助成	農協からの購入伝票 ゆうだい21生産者に限る



J A 富山市 まんなか市場

みなさまに愛されて6周年

6月1日(木)・2日(金)の2日間、まんなか市場にて「6周年記念イベント」を開催いたしました。

管内のトマト等の夏野菜を取り揃え、イベント期間中は大勢のお客様にご来店いただきました。先着順ではありますが、お花のポットを来店記念としてプレゼントし、大変お喜びいただきました。

今後みなさまに愛される直売所を目指し、日々チャレンジしてまいります。

予告

8月11日(金・祝)〜13日(日)には、毎年ご好評をいただいている「J A 富山市切花即売会」を開催する予定にしておりますので、ご来店をお待ちしております。

場所  南支店  中央支店 



富山市農協青年部

活動記録

6/9 (金)

6/14 (水)

6/15 (木)

第2回J A職員交流会を開催！今回は、J A職員15名、青年部員7名が参加し、サツマイモの定植、大玉トマトの管理、花の出荷作業を体験しました。秋にはサツマイモの収穫作業を行う予定にしています。実りの秋が楽しみです。



J A 富山市 女性部だより

山室女性部

6月9日(金)中央支店にて、山室女性部料理教室を開催しました。

今回のメニューは、お豆腐ドーナツといもち！

コロナが落ち着いて集まる機会が増えていく中、たくさんできて、簡単に作れるヘルシーおやつを選びました。

簡単で大量に作れるので、家でもアレンジして作ってみたいなどの声がありました。

南女性部

6月29日(木)南支店にて、南女性部手芸教室を開催しました。

色や柄の違う、オリジナルのティッシュボックスを制作しました！

毎日使えるお気に入りのティッシュボックスが完成しました。

Withコロナの時代ですが、感染に注意しながら楽しく活動していきます！



富山地区農協協議会会長
全共連富山県本部運営委員会会長

就任のご挨拶

過日の6月14日に富山県農協会館で開催されました富山地区農業協同組合協議会通常総会に於きまして、役員改選の議案が上程され、この度「富山地区農協協議会会長」に選任されました。富山地区農協は3月1日に「山田村農協」が「あおば農協」と合併し、現在、「あおば農協」「なのはな農協」として「富山市農協」と、3農協で構成されております。富山市の行政区の中にある3農協として取り組むべき課題をそれぞれ共有し、互いに連携しながら事業展開を図ってまいりたいと考えております。

一方で、6月30日に富山県農協会館で開催されました全共連富山県本部運営委員会に於きまして、この度「全共連富山県本部運営委員会会長」に選任されました。JA共済を取り巻く環境は極めて厳しい状況ではありますが、このような時こそ共済事業の原点に立ち返り、組合員・利用者の「生命と財産を守る」という我々の理念や使命を果たすため、これまで以上にJAと連合会が連携した取り組みが必要となります。JA共済事業は、これからも「人と人との繋がり」や「絆」を大切にし、組合員・利用者の皆様にさらなる「安心」と「満足」をお届けできるように努めてまいります。

いづれにいたしましても、私、浅学非才ではありますが富山地区3農協並びに共済事業発展のため誠心誠意努力する所存でありますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

富山市農業協同組合 代表理事組合長 高野 諭

JA共済

アンパンマン交通安全キャラバン

開催



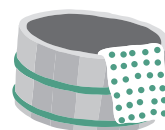
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

6月24日(土)、富山市農協本店・南支店3階ホールで、「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が開催されました。当日は、227人の親子が参加されました。アンパンマンたちが登場すると、子供たちから大きな歓声があがりました。子供たちは歌や踊りを通じて、アンパンマンたちと一緒に交通ルールを学びました。

このイベントは次世代を担う子供たちを交通事故から守るため、JAの地域貢献活動の一つとして実施しております。

JA富山市年金受給者友の会地区別総会

雨晴温泉「磯はなび」癒しと寛ぎの絶景宿を堪能



令和5年度年金受給者友の会地区別総会を6月5日(月)より7月21日(金)にかけて開催しております。今年度は雨晴温泉「磯はなび」を会場に、各地区より年金友の会の会員の参加をいただき、会員の皆様の親睦を図りました。

今年度は4年ぶりの開催ということもあり、久しぶりの総会に、会員の皆様はそれぞれ温泉と料理を楽しまれ、日頃の疲れを癒されたことと思います。

当JAでは、今後も一人でも多くの方に年金友の会の会員になっていただき、このような交流の輪が広がっていくことを願っております。新たに年金受給手続きをされる方は、JAにて年金額の試算や代行手続きをさせていただきます。また、現在他の金融機関で受給されている方も、簡単にJAでの受給手続きができますので、ぜひお気軽にご相談・ご連絡ください。

また、10月には年金受給者友の会パークゴルフ大会を開催いたしますので、興味のある方、参加を希望される方はお近くの支店へお問い合わせください。



元気いっぱい！

新保小学校 泥んこ田植え体験

5月31日(水)、新保小学校5年生47名が「米作り」を学ぶ社会科授業の一環として、学校近くの田んぼで苗の手植え体験を行いました。当農協青年部新保支部と職員が植え方などを説明し、児童らは約5aの田んぼに向かい合い1列に並び、「ソシヒカリ」の苗を植えていきました。

慣れない泥の感触に最初は大きな悲鳴も聞こえましたが、徐々に植えつけのスピードもあがり、泥んこ姿ではしゃぐ児童たちの姿が印象的でした。

作業後は田植え機の試乗も行い、初めて感じる乗り心地と見える景色に興味津々。秋には稲刈りを行い、家庭科の調理実習にて収穫したお米を炊いて、ご飯とお味噌汁をみんなで味わう予定です。



大きくなあれ！

熊野小学校 野菜教室

6月8日(木)、熊野小学校2年生45名の生活科の時間に出前授業を開催しました。児童たちはミニトマトやきゅうりなど、自分で選んだ苗をアサガオ鉢で育てながら野菜づくりについて学びます。

当JA営農担当職員からの説明を受けた後の質問コーナーでは、「水はどれくらいあげればいいですか」、「虫がつかない方法を教えてください」、「ツルは切ってもいいですか」など、子ども目線の鋭い質問がたくさんあり、職員もタジタジになる場面も。

今後も野菜の成長を見ながら、美味しい野菜が収穫できるようサポートしていきます。



親子でサツマイモ苗植え

熊野校下ふるさとづくり推進協議会

6月3日(土)、熊野校下ふるさとづくり推進協議会主催の「野菜づくり教室」に当JAトータルサポート室と営農担当職員が協力し、親子でサツマイモの苗植え体験を開催しました。今回参加したのは熊野地区の親子15組41名。

この教室は親子で農業に触れることで、農作物を育てる苦労や楽しさ、食の大切さなど一つでも多く学んでほしいと協議会が企画。JA職員からサツマイモの歴史や品種の特徴、植え方の説明を受けた後、スタッフのサポートを受けながら長さ15メートルの畝5本に約500本の「紅はるか」の苗を丁寧に植つけていきました。

サツマイモ苗は協議会の皆さんで管理を行い、参加者は夏休みの間、生長を観察します。10月には収穫体験、その後、料理教室で調理し味わう予定です。



JA富山市 野菜出荷協議会 青ねぎ部会 収穫前研修会および栽培説明会を開催

栽培説明会を開催

6月8日(木)、JA富山市野菜出荷協議会 青ねぎ部会が収穫前研修会および栽培説明会を開催しました。部会員に加え、今後青ねぎ栽培を検討する農家の方も参加され、青ねぎの栽培・出荷のポイントを確認しました。

今年3月に県内JAで初めて設立された青ねぎ部会。産地としての地位確立と地域農業の活性化を目指し、「確かなものを出荷できるように努める」と藤村伸生部会長が挨拶されました。



夏を乗り切る！ お得な製品が勢ぞろい♪



6月16日(金)、
17日(土)の2日
間にわたり本店
3階にて「暮らし
応援！夏とく
フェア」を開催
いたしました。

今年夏は夏の電
気代高騰を乗り
切るさまざまな
省エネ家電、夏
用スーツやアウ
トドアの季節に
大活躍のキャン

プ用品等の展示・販売を行いました。
多くの皆様にご来場いただき、ありがとうございました。



J A 富山市×神明×全農とやま 「ゆうだい21」PR看板設置



6月21日(水)、国
内最大の米卸「神明」
の森脇暁取締役執行役
員が来県され、「ゆう
だい21」をアピールす
るためPR看板を設置
しました。管内の生産
者70戸の圃場に1枚ず
つ設置する予定です。

ゆうだい21は、甘み
と粘りが特徴の良食味
米で、神明を通じて全国のローソンのお弁当など
に使用されており、安定した価格で安定した収入
を確保できる品
種です。

今後さらなる
生産拡大を目
指し、三者で連
携して情報発信
を行ってまいり
ます。



J A 富山市×北酸×東京大学×金沢大学 共同プロジェクト経過報告



6月22日
(木)、東京大学
より修士学生1
名と北酸より社
員1名が来訪し、
5月25日(木)
に実証実験を開
始した小松菜の
収穫作業が行わ
れました。さま
ざまな条件下で
栽培された小松
菜を収穫し、大
きさ・重さ・葉

緑体について器具を使って数値を図るなど、生育
結果ついて記録されました。今後成分等について
検証が行われる予定です。

また、土壌について
も一つ一つ採取され、
微生物と籾殻の炭の働
きについて検証される
とのことです。

今後も引き続きプ
ロジェクトの進捗に
ついて、ご報告して
いきます。



理事会だより

第4回 定例理事会次第

と き 令和5年6月27日(火)
午後1時30分
ところ 本店会議室



協議事項

- 1) 「富山市のWEB口座振替受付サービス」の手数料設定(案)について
- 2) 内部監査規程の一部改正(案)について
- 3) 不良債権の処理方針(案)について
- 4) ディスクロージャー(経営内容の開示)について
- 5) 固定資産の取得(案)について
- 6) 労働組合要求について(夏期賞与)
- 7) 役員委員会構成の改定(案)について

共同乾燥調製施設 (ライスセンター)

アルバイト 募集!!



応相談

期間 令和5年8月中旬～10月上旬

作業内容 米の荷受け作業・施設内清掃 等

勤務時間 午前8時30分～午後5時

お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください

営農販売課・ 支店営農係まで	営農販売課 南支店 中央支店	TEL 076-428-1199 TEL 076-428-1122 TEL 076-425-2888
-------------------	----------------------	--

今月の 表紙

農家を続けるための経営戦略

～人との繋がりの大切さとは～

祖父から受け継いだ上熊野の土地で小松菜を栽培・出荷する蜷川地区の若林 佳晃さんは、今年で専業農家11年目を迎える。「ずっと農家を続けたい。そのためには変化し続ける必要がある。」と語り、小松菜以外にも、農業を通して出会った人たちから要望のあるさまざまな野菜類の栽培に積極的にチャレンジしている。

また3年前から農福連携を取り入れており、袋詰めや苗の間引き、草刈り等をNPO法人へ委託している。「農福＝人件費が安く済む、という考えは間違っている。自分の時間を確保するために雇い、能力が発揮できる仕事



をお願いする。そして対価をしっかりと支払う、そうやって信頼関係ができていくのだと思う。」と。

「ぼくには人望がない」と笑う若林さん。しかし、相手に寄り添い、なにごとも前向きに取り組む若林さんのまわりには、自然と人が集まっているのではないだろうか。

◀若林さんの小松菜にはパッケージに自身の顔がデザインされている。

